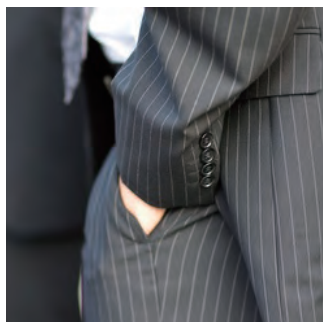


マナーもエチケットも人権意識

社会人として、人権意識をもった大人の立ち振る舞いを身につけよう

5月に入り、新社会人も会社慣れてきた頃だと思います。社会人になると身につけなければならないのがマナーとエチケットです。このマナーとエチケットは人権意識と深く関わっています。マナーとエチケットには、「人を不快にさせない」「人に迷惑をかけない」「人に心配りをする」という意味合いがあります。つまり、マナーもエチケットも人を思いやる人権意識がなければできないのです。



最近、行政機関にてポケットに手を入れたまま人の話を聞いたり挨拶する場面を見かけました。ポケットに手を入れている行為そのものは、直接誰かに迷惑をかけているわけではありません。しかし、相手がどのように感じるかが問題なのです。そこに人権意識が問われます。一般的にその行為は威張っていて見下されている感じがします。つまり、人を不快な気持ちにさせる行為として失礼なのです。特に目上の人に対しては大変失礼な行為となります。

同じように、マスクを着用したまま話しをする場合も気をつけなくてはなりません。ビジネスマナーでは「マスクをしたまま営業や商談で話をするのは、帽子をかぶったままのと同じくらい失礼」と言われています。マスクを顎に引っ掛けて対応する場合も同じです。もちろん、やむを得ない場合もあります。そのときには「花粉症でマスクをしたまま失礼します」の一言が必要です。それも人権意識です。

このような行為は、友だちと居るときなら問題ありませんが、公の場になればなるほど、その人の人権意識が疑われます。社会人は、会社や行政の看板を背負っています。誰が見ているかわかりません。だらしない格好も同じです。社会人として「挨拶」「表情」「身だしなみ」に気をつけ、人権意識を持った大人の立ち振る舞いを身に付けたいものです。



チャリティーゴルフ大会

国連NGO横浜国際人権センター支援ゴルフ大会

ZOY CUP
by Hiroo

2016 SUMMER

6月21日(火)
東京バーディクラブ

開催日 2016年6月21日(火曜日)
開催場所 東京バーディクラブ (東京都青梅市小曾木5丁目2943)
費用 23,000円(プレー費等20,000円)+参加費3,000円)
募集定員 140人(35組)
※費用は消費税込、プレー費、キャディー費、昼食代、パーティー代、参加費が含まれます。
※キャディー付き、乗用カートでのプレーとなります。

チャリティーホールにて、オレンジハートリボン運動(<http://orangeheart.yihrc.or.jp/>)のチャリティーを行います。
「オレンジハートリボン運動とは、永眠を待たず子どもたちのために、命の大切さを伝え、いじめをなくし、思いやりのある社会を目指して活動する民間運動です。」

ZOY CUP 2015 Autumn

国連 NGO 横浜国際人権センターの活動にご賛同いただいた GOLF アパレルブランド ZOY がオレンジハートリボン運動を支援するチャリティーゴルフ大会を開催

昨年に引き続き、第5回目となるチャリティーゴルフを開催します。アパレルブランドのZOY CUPにて、チャリティーを実施。国連NGO横浜国際人権センターのオレンジハートリボン運動を支援するゴルフ大会です。

history of Charity Golf

昨年度行われたチャリティーゴルフを紹介します。

第3回チャリティーゴルフ

2015年6月29日、富士桜カントリー倶楽部にて、WFP支援チャリティーゴルフを開催しました。テーマは「飢餓のない世界を目指して」。クラブハウスにて人権啓発パネル展も同時開催。集まった寄付金約50万円を、国連WFP協会に贈らせていただきました。



第4回チャリティーゴルフ

2015年10月18日、花咲カントリー倶楽部にて、チャリティーゴルフを開催しました。テーマは「命の大切さを伝え、いじめをなくし、思いやりのある社会に」。一人でも多くの方に人間の基本となる人権意識に気がついてもらうためのチャリティーゴルフです。



国連 NGO 横浜国際人権センター山梨ランチ 代表：横山隆史

〒400-0031 山梨県甲府市上町 601-4 甲府市環境センター内 なでしこ工房 1 階事務室

TEL. 055-243-8563 FAX. 055-243-8564 <http://yamanashi.yihrc.or.jp/> E-mail. yamanashi@yihrc.or.jp